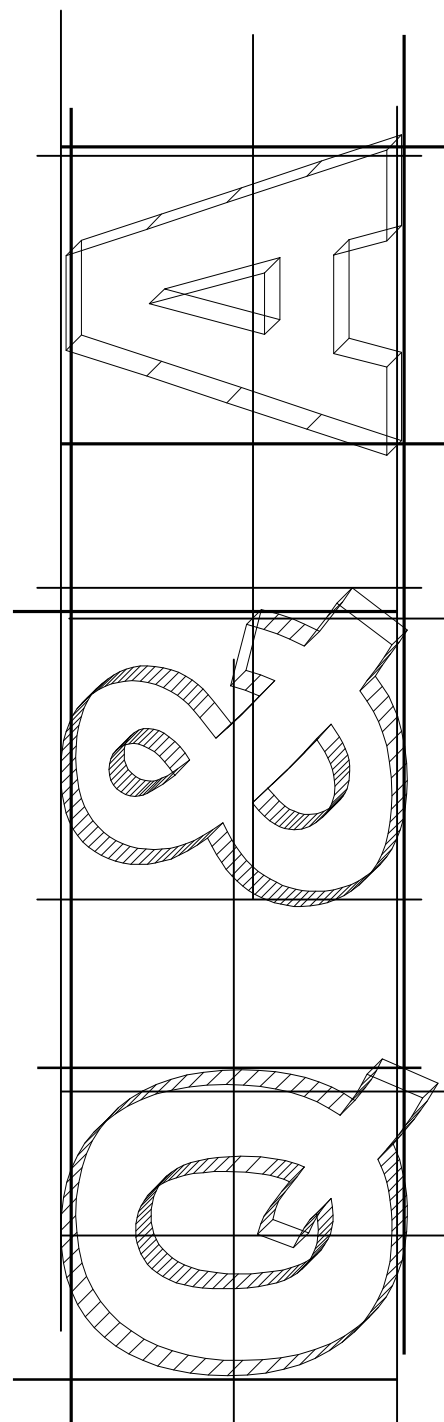


HOKUSHU INOVAR Floor

Q&A

(北洲 イノヴァーフロア Q&A)



Vol.4

■販売代理店

 **大利木材(株)** 建材部

徳島県徳島市津田海岸町7-68
TEL 088-662-5505 | FAX 088-663-4050
<http://www.dairinet.com>



HOKUSHU

株式会社 北洲 輸入部 東京営業所
〒140-0013 東京都品川区南大井 6 丁目 16-4
Tel 03-6404-6750 Fax 03-6404-6751

本社
〒981-3341 宮城県黒川郡富谷町成田 9 丁目 2-2
Tel 022-348-3011 Fax 022-348-3931

<http://www.hokushu.net>

import@hokushu.net

北洲 イノヴァーフロア Q & A

本書は弊社製品『イノヴァーフロア』の特性と性能について、ご質問が多いものに対し作成した Q&A ガイドです。
他社製品との相違点・商品特性を正しくご理解戴き、顧客への商品説明・拡販にお役立て戴ければと思います。

目 次

Q. 1	MDF と同じものじゃないの?	P3
Q. 2	以前、MDF を使用して大変な目に遭った。 同じ様なものは使いたくない。	P3
Q. 3	他の HDF フロアメーカーとどう違うの?	P3
Q. 4	F の認定は取得しているの?	P4
Q. 5	フロアの表面は本物の [木] ですか?	P4
Q. 6	床暖房にも使用出来るの?	P4
Q. 7	下地マットは、何のために敷くの? 敷かなきゃダメですか?	P4
Q. 8	【浮き】が心配なので、部分的でも釘を打ってもいいか?	P4
Q. 9	水に濡れても大丈夫?	P5
Q. 10	置床施工ということだが、釘・接着剤を使わずに、浮いたりしないの?	P5
Q. 11	目地がないので、ニセモノっぽく見えるのですが…。	P5
Q. 12	クリアランスを確保しないと、どうなるの?	P6
Q. 13	設計士・現場担当が見切りを付けたくないというが、可能か? また、対応策は?	P6
Q. 14	ソフト幅木の現場には使用可能?	P6
Q. 15	寸法の件は理解したが、入数も中途半端だよな?	P6
Q. 16	寸法が中途半端で使いづらいのでは?	P7
Q. 17	日常のメンテナンスは? ワックスは何を使用すればいいの?	P7
Q. 18	施工キットは必ず必要なものですか?	P7
Q. 19	店舗用と思うのですが、一般住宅にも使用出来ますか?	P7
Q. 20	火にも強いというが、どれくらいのレベルなの?	P8
Q. 21	フロア以外の活用方法は? キッチンパネル等にも使用可能ですか?	P8
Q. 22	『施工が簡単』と言いますが、素人の私でも施工できますか?	P8

Q.1 MDFと同じ物じゃないの?

A MDF(Medium Density Fiberboard)は中密度繊維板として、密度が 0.35 0.80g/cm³ のものにて成型した繊維板を指します。対して、HDF(High Density Fiberboard)は極めて高い密度(850kg/m² 以上)にて成型した繊維板なので、とても堅く、水を含み難いという観点にて大きく異なる物です。

判り易い例えとして、MDF・HDF ともに同じ材を使用して双方ともに 8mm に成型するものとした場合、成型する圧力が圧倒的に異なるが故に HDF は MDF よりもより多くの材を必要としますし、より堅く仕上がることは理解できるものと思います。

また、その密度故に水分も含み難くなるという点もご理解できるものと思います。

故に、HDF は MDF の改良版としたものではなく、全く異なる商材であることをご理解いただければと思います。

Q.2 以前、MDF を使用して大変な目に遭った。同じ様なものは使いたくない。

A MDF のフロアは強度に乏しく、水に濡れると比較的早く(膨れる)というデメリットがあり、苦勞があったことは多々実例がありますし、良く聞きます。

Q.1 でも述べました様に、HDF は MDF の改良版ではなく全くの別商品であります。また、高密度故に硬度が高く水に強いという観点から MDF にて弱点であったことは全くと言っていい程ありません。

また、現在では、特許取得のロックシステム採用により、はめ込んでいだけという施工方法と併せて、一度採用戴いたお客様は勿論、以前 MDF にて苦勞された方々でも【全く異なる物】ということをご理解戴き、改めて採用戴いたり、カーフローアから切替えて標準化戴けるまでの信頼性・差別化性を持って戴いている状況です。特許加工のロックシステム採用にてサネ部への水の浸入はありませんが、万一の侵入に対して【ワックスガードプラス】という処理を施しておりますので、より安心して戴けるものと思います。【ワックスガードプラス】は防水のみならず、サネ部の床鳴りの防止にも効果があります。

以前、大変な目に遭ったという方も信頼して使用出来る商品ですので、是非一度採用してみてください。

Q.3 他の HDF フロアメーカーとどう違うの?

A 現在、主に日本にて流通している同様のフロアは、ドイツ系の【クロノテックス】、ドイツ系で伊藤忠商事が輸入している【カインドル】、イタリアの【マデラ】、野原産業が輸入・販売しておりますベルギー系の【クイックステップ】があります。

それらの商品とイノヴァーフロアの根本的な違いは、基盤の HDF にあります。

イノヴァーフロアの HDF 基盤原材料は【ラワンの抽出繊維】であり、それに加えてイペ・ウリン等の硬木の繊維も含めて生成しております。それ故に色が濃く、非常に硬い基盤を生成している訳です。

それに対し、ドイツ系・イタリア系・ベルギー系のタイプは、HDF の基盤が針葉樹を使用しているケースが見受けられますので、伸び過多、膨れ等の MDF に近いデメリットが発生することも聞いております。

針葉樹系の基盤では圧縮強度を高めても、樹種繊維自体の密度が小さいので、水分等が浸入するものと考えられ、結果、それが膨れや伸びにつながるものと考えます。

	イノヴァーフロア	クロノテックス	パット	クイックステップ
原産国	マレーシア	ドイツ	イタリア	ベルギー
基盤	HDF ラワン・イペ・ウリン等 混合の広葉樹	HDF 針葉樹	HDF 針葉樹	HDF 針葉樹
サイズ	8x190x1286	8x193x1380 9x193x1380	8x190x1290	7x190x1200 8x156x1380
サネ形状	ヴァリングロック システム (国際特許取得)	クリック 2 クリック	雇いサネ	ユニクリック システム
種類	9 種類 新規予定 3 種類	7 種類	8 種類	14 種類
価格帯(設計価格)	¥5,333- ~ ¥5,744- / m ²	¥5,726- ~ ¥6,804- / m ²	¥5,500- / m ²	¥4,600- ~ ¥10,300- / m ²

Q.4 F の認定は取得しているの?

A 大臣認定として認定を取得している商品です。(認定番号 MFN-1917)

同様の商品にて大臣認定を取得せずに、入荷の都度 合板検査会等にて試験を受け、その試験成績書にて(認定品)と主張している会社もありますが、それらは成績書にも記載されている様に、製品全体の品質・性能を保証するものではありませんので、ご注意下さい。

Q.5 フロアの表面は本物の【木】ですか?

A イノヴァーフロアの木目・柄はメラミン樹脂含浸の木目調装飾プリントです。メラミン樹脂含浸の木目調装飾プリントの上に耐磨耗性に優れた【酸化アルミニウム】をコーティングすることにより、より強度・耐傷性を高めています。

表面の仕上げには、【ウッドエンボス】【ウッドグレン】【ハイグロス】の3種類があります。【ウッドエンボス】は木目調に浮づくり調のエンボス加工が施されているタイプです。【ハイグロス】は大理石調のタイプに採用されている鏡面仕上げのタイプです。

【ウッドエンボス】【ウッドグレン】【ハイグロス】ともに、表面の硬度は変わりありません。

Q.6 床暖房にも使用出来るの?

A 使用出来ます。東京ガス 熱耐久試験にも合格しており、様々なタイプの床暖にも使用出来る商品です。床暖使用時は、下地マットを【テュプレックス下地マット】に代えて施工して下さい。

但し、床暖に対して100%万能という訳ではなく、床暖房の種類・使い方には注意を要します。電熱シートタイプにおきましては、急激に高温が上昇するタイプがあります。床暖の温度に対して日本には明確な基準が御座いませんが、ISOの基準ではフロアの表面温度が29以下との定めがあります。フロアの表面温度が35位になりますと低温やけどを発症したりと建物への影響のみならず、人体への影響も発生しますので、注意が必要となります。イノヴァーフロア側におきましては、フロアの表面温度が28とした定めがありますので、床暖房の採用の際はご注意戴くとともに床暖房の種類におきましては、ご相談下さい。

Q.7 下地マットは、何のために敷くの? 敷かなきゃダメですか?

A 下地マットの主な役割は、【不陸調整】【防湿】です。イノヴァーフロアは置いていくだけのフロアですので、下地の平滑化が重要となります。平に見える合板下地であっても多少の不陸は発生するでしょうし、つなぎ目、釘打ち箇所などの木片浮きなどもあるので、調整する材は必要となります。また、フロアパネル自体が非常に硬いので、長時間立っていると疲れる可能性もあります。それをクッション材にて緩和させることも狙いのひとつです。

敷かないで施工した場合、不陸が調整出来ず部分的に浮く感じがする箇所の発生もあるものと思いますし、下地と擦れて床鳴り等が発生することも考えられますので、必ず下地マットは敷く様に下さい。

下地が合板となる場合は【クッションシート】を使用、RCスラブや床暖房を使用する場合は【テュプレックス下地マット】を使用して下さい。新築でのRCスラブの場合は、防湿を強化する上でも【テュプレックス下地マット】の下に防湿フィルムを敷くことをお勧めします。

Q.8 【浮き】が心配なので、部分的でも釘を打ってもいいか?

A 釘打ちは一切不可です。置き床施工が標準とした基本設定で製作しているため、釘を打った場合、その部位が割れる可能性が高いこと、仮に釘が打っても段差が発生しパネル同士をはめることが出来ないこと等の問題が発生します。フローティング工法(置き床工法)の不安はあるかもしれませんが、施工性の良さ、コスト削減等のメリット供与が大きいため、適正なクリアランスを確保した上で、施工マニュアルに基づき施工して下さい。

Q.9 水に濡れても大丈夫?

A

Q.1 の様に、基盤の HDF は高密度として成型しているが故に水を含み難くなります。一般住宅のトイレ・洗面所等での使用にも耐えられる程の十分な耐水性能を持っております。但し、あくまでも室内用ですので、常時水分に浸されている様な箇所での使用には適しません。

実部が特許取得のロックシステムとなっておりますので、パネル同士が引寄せ合いながら接続されることにより、実部から水が浸入することは殆どありません。

(実部には念のため【ワックスガードプラス】という防水処理が施されておりますので、万一進入した水分にて即座に(膨れ)が発生することはありません。)

土足での使用や、水はね程度の使用による水濡れは比較的に早めに水分を拭うでしょうから特に問題はなりません。P タイルの様に水を蒔いて擦ったりすることは使用想定外ですので、不可となります。

Q.10 畳床施工ということだが、釘・接着剤を使わずに、浮いたりしないの?

A

全てのフロアに言えることと思いますが、フロア材自体の伸縮はゼロではありません。カラーフロアやムク材などは釘・接着剤を併用し、【押さえ付ける】という施工方法です。材が伸縮した際の歪みが【反り】【すき間の発生】【床鳴り】等々として発生しております。

イノヴァーフロアは、1枚1枚の床という観点ではなく、張った後は全体が1枚の板として捉え、自由に動いて伸縮に対応するという考えです。

故に、伸びに対するクリアランススペースを作る必要があります。

フロアを施工する幅(縦横ともに) 1m に対し、1mm 程のクリアランススペースを設けて下さい。

(例えば、張る部屋の幅が 4m あるのであれば、材の両端側に 4mm づつのスペースが必要です。)

このクリアランススペースを確保することで、【浮き】という現象は発生致しません。

施工する末端の大工さんにまで、正規のクリアランススペースの必要性を説明することが重要です。伝言ゲームの様なもので、

【販売店】【ビルダー・工務店】【親方大工】【職方】【施工大工】

としていく中で、『1m に対し、1mm づつを両端に! 施工幅が 4m の場合、両端に 4mm づつ』ということが、いつの間にか施工大工まで伝わる中で『突付けせずに少し空ければいいんだって!』とした様な伝わり方をするケースが見受けられます。

浮いたというクレームの 100% がクリアランススペースを取らない施工ミスによるものです。

後日、施工大工に『スペース空けたか?』と聞いても、1mm でも 2mm でも空けてれば、『空けた』と言います。

要は規定の必要クリアランス分を空けたか否かということが重要ですので、『浮かせる施工ミス』をなくすことから、クリアランススペースの確保は十分に取って戴くとともに、確保の管理もお願い致します。

施工手順におきましては、接着剤を使用して施工するケースも発生致しますので、『基本的には接着剤不要』ということであり、『一切不要』ということではありませんので、ご了承下さい。

壁際の最終パネルや、枠・クロス等を先に施工し後施工でフロアを張る場合など。(施工要領参照)

(やむをえない場合のレアケースであり、施工手順に基づいて施工願います。)

Q.11 目地がないので、ニセモノっぽく見えるのですが・・・。

A

現在、一般的に使用されている【カラーフロア】等は、ムクフロアを真似て作ったものなのであえて目地を作って製造されています。

長年それを見慣れているので目地があるのが【当たり前】という感覚になっているものと思いますが、そもそもそれらの工業化製品に目地は必要でしょうか?

ムクフロアは、1枚の木ですので、反ったり歪んだり暴れたりします。それらを緩衝させるために実をゆるく加工したり、V 溝とした目地を加工して歪み等が発生した場合に段差等を目立ち難くするために入れたものです。

【カラーフロア】等の工業製品はムクフロアのデメリットに対し合板基盤を使用することにより抑制したもので、あえて V 溝目地を入れる必要はないのです。

V 溝目地を無くすることで、目地に汚れが入って汚く見えることもありませんし、メンテナンスが非常に楽になります。

また、施工時にも千鳥に張っていく等の【割り付け】を考える必要がありませんので、施工が早く、結果、コストダウンにつながっている事実があります。

目地の有無は個人の好みの観点もありますが、既存の【カラーフロア】意識から脱却して目地なしのメリットを考慮し選定戴ければと思います。

Q.12 クリアランスを確保しないと、どうなるの？

A

フローリング全般において、ほぼ全てのフロアは伸縮があるものです。イノヴァーフロアも同様に伸縮があり、どちらかと言えば若干伸びる傾向にあります。フローティング工法にて施工しているので、フロア自体の伸びや動きにより様々に動くことが予想されます。この【伸び】や【動き】に対する調整幅が壁際に設けている【クリアランス】です。

この【クリアランス】をとらないと、フロアが伸びた場合、逃げ幅がなくなり【浮き】として上に逃げざるを得なくなる訳です。現在、【浮き】としたクレームのほぼ100%がこの【クリアランス】をとらないが為に発生しているものです。また、床暖房採用時など、【クリアランス】を確保しないで施工した場合、床暖によって暖められた空気の逃げ場が無く、【浮き】につながる様なケースも見られております。

【浮き】を発生させないためにも、規定の【クリアランス】確保は絶対に必要なものであることをご理解下さい。

Q.13 設計士・現場担当が見切りを付けたくないというが、可能か？ また、対応策は？

A

フロアの伸びの観点から、イノヴァーフロアは必ずクリアランススペースを必要と致します。壁際の部位は、張る部屋の長さ1mに対して1mm、フロアを張る最大スパンは12m以下です。見栄え上、見切りを付けたくないという理由は理解出来ますが、既定のクリアランススペースを保持しなければ伸びた際の【浮き】が発生する可能性が高くなります。

スパン12m以内の見切りの必要性においては、スパンが長すぎる場合、壁際のクリアランススペース部位まで伸びが逃げて行かず、途中中間部位での【浮き】発生可能性があるからです。故に見切りを用いたクリアランススペースの必要性がある訳です。

見切り使用の場合、どうしても段差が発生しますので、それを嫌がる理由も理解出来ます。やむをえない場合、エキスパンションスポンジを用いて段差を付けずにクリアランススペースを取ることも可能ですが、フロアパネルを上から押さえることが出来ないためフロアパネルが上下に浮き沈みする状態になりますので、お勧めは出来ません。

店舗・老健施設等におきましては、見切りの硬度も要求される場合があります。それらの物件の場合、現在標準として設定している見切りのタイプでは強度・厚みの観点から不具合が発生する場合がありますので、ステンレス等の強度のあるタイプをお勧め致します。見切材の専門メーカーでもある【株式会社 アシスト (www.asspie.jp)】などは、様々なタイプの見切りがありますので、対応出来るかと思えます。

Q.14 ソフト幅木の現場には使用可能？

A

イノヴァーフロアは壁際部位において、幅木で押さえることで端部のバタつきが発生しない様にしているフロアであり、幅木の下部にてクリアランススペース確保している商品なので、クリアランススペースが確保出来ない状態でのソフト幅木は基本的には使用出来ません。

但し、端部にL型見切りを使用した上でソフト幅木を使用する分には取り付け可能ですが、見た目の問題や、L型見切りを取り付けた上でソフト幅木を使用することにて2度手間と費用が発生しますので、最初から通常の幅木を使用した方がベストと言えます。

Q.15 寸法の件は理解したが、入数も中途半端だよ？

A

1ケース 1.95㎡入として、既存の国産品に比べて中途半端であることは確かだと思います。イノヴァーフロア自体が、【釘・金物を使用しない】【土足もOK】【火にも水にも薬品にも強い】【床暖OK】【直張りもOK】【傷に強い】等々、何にでも使用可能なマルチパーパスフロアですが、入数の点においては唯一の弱点として輸入品故にご容赦願いたいと思います。

しかし、発注にて、例えば15坪分(26c/s 15.37坪)・20坪分(34c/s 20.09坪)・25坪分(43c/s 25.41坪)とした場合、計算上 若干の端数が発生するのみで、はめ込む施工の中におけるロス分として考えて戴ければと思います。

Q.16 寸法が中途半端で使いづらいのでは？

A

イノヴァーフロアは、[ウッドエンボス][ウッドグレン][ハイグロス]の3種類の表面加工があり、どのタイプも8x190x1286という寸法です。

一般的なカラーフロアの施工に慣れている方から見れば、確かに中途半端な寸法に思うかも知れません。

輸入品故に日本製品とは異なる寸法であることはご理解戴きたいのですが、特に長さに関しては、施工時に理由が判って戴けるものと思います。

イノヴァーフロアは、釘・金物を使用せずにはめ込んでいくだけの施工となりますが、フロアパネルを両手で持つてはめ込む際に、丁度良い長さが1200~1300mmなのです。

日本規格と同様に6尺(1820mm)等に製作することも可能ですが、両手で持って施工するには長すぎるため、左側をはめいている間、右側等は浮いてしまう様になる、短辺方向のサネはめ込む際に長すぎて手元が安定せずにはめ込み難い等々の煩わしさが発生します。

また、イノヴァーフロアは割付を考えて千鳥で張る等の必要がなく、左端から張って行き、右端側の部位をカットしたものを次列の最初に張っていく(追い張り)施工となりますので、ロスも少なく済みます。

以上の観点から、寸法は国内品とは異なりますが、使いづらいということはないと思います。

Q.17 日常のメンテナンスは？ ワックスは何を使用すればいいの？

A

日常のメンテナンスは、乾いたモップ(クイックルワイパー等)でOKです。

汚れが落ち難い場合は、堅く絞った雑巾等にて拭いて下さい。

それでも落ち難い汚れの場合は、中性洗剤を含ませて同様に拭いて戴ければ汚れは落ちます。

フロア表面の性質上、ワックスは浸透致しませんので、絶対に掛けないで下さい。(ワックス禁止)

油分が表面に残り逆に汚れを呼び込むこととなりますし、表面にのらずに白化する場合も考えられます。

Q.18 施工キットは必ず必要なものですか？

A

施工キットの内容は、引寄せ金具・アテ木・くさび20個が入っております。

実際この中で必要なのは、クランク状になっている[引寄せ金具]です。

これは、フロアを張っていった最後の列、パネルを横に張っていった再の最後のパネル等、壁にぶつかってタッピングブロックで叩けない箇所等にて引寄せして使用するための工具です。

必ず無ければ施工出来ないというものではありませんが、あった方が簡単、且つ、確実に施工することが出来るので、あるにこしたことはありません。

近日、キットとしてではなく、この[引寄せ金具]のみバラの状態の販売を予定しております。

出来れば、保有して戴きたい工具です。

Q.19 店舗用と思うのですが、一般住宅にも使用出来ますか？

A

現在の採用比率では、住宅と店舗系での採用で約50:50です。

どちらかに極端に偏ることなく、住宅・店舗平均的に採用されております。

販売している先で良く聞く話ですが、住宅で要望されているのが、

キズが付き難いこと。

コストが安いこと。

メンテナンスし易いこと。

が挙げられます。イノヴァーフロアがまさしく全てにあてはまり、カラーフロアから切替えて採用されている事例も少なくありません。

その理由の最たるものが、(ライバルがない)ということです。

カラーフロアなどはどこでも販売しているので、違う建材店が安く持ってくれば価格の叩き合いになる可能性も高く、結果、利益減になります。

カラーフロアの場合、イノヴァーフロアと同様の性能を持っているものはありません。

『コストが安く、水や火にも強い、床暖も使えて、傷も付き難い。WPCフロアの比ではありません。』

また、釘・金物・接着剤も使用しない はめるだけの施工故に施工コストも大きく削減可能』

等々、比較できるものがカラーフロアにはないのです。

様々な特性から、イノヴァーフロアはカラーフロアにはない性能を持ったこれからのフロアです。

現時点で扱い店は少なく、差別化して販売出来る商品ですので、是非早期に取り組んで戴ければと思います。

Q.20 火にも強いというが、どれくらいのレベルなの？

A

一般家庭にて使用する分においては、十分な耐火性能を持っております。日常起こりえる事例としてタバコを落とした場合など、【スス】が付いて部分的に黒くはなりますが、コゲ跡は一切付きません。付いた【スス】も雑巾等にて拭いて戴ければ容易に取れます。それに対し一般的なカラーフロアでは、タバコを落としただけでもコゲ跡が付くでしょうし、それを補修するだけでも大変です。

現在では表面がシート張りのカラーフロアも多くなってきておりますが、それらの大半はオレフィンシート等を表面に張っているため、タバコの火 程度でも熱で膨れる可能性が高い状況にあります。

また、イノヴァーフロアは、仮にバーナー等にて表面に火をあててもその部位のみ焦げますが、燃え広がるということはありません。

カラーフロア等では比較的早く表面が燃えますし、周囲にも燃え広がります。

これらの点が【火に強い】という観点です。

Q.21 フロア以外の活用方法は？ キッチンパネル等にも使用可能ですか？

A

基本的には床用(室内用)です。

しかし、フロアの特性を活かして様々な使い方をされている事例もあります。

腰壁としての活用

腰壁への活用は比較的一般的に使用されております。

室内のペット(特にネコなど)などにおいては、爪研ぎに耐効性がありキズを気にしないで済んだ等々。

テナントでの活用

ビル内テナントの店舗外部での事例もありました。

パレンシアオークをヨロイ張り調に重ねて張ったものです。

通常の施工の様に凸実・凹実をつなぎ合わせるのではなく、凹実部の上に位置をズラして凸実部を載せ、あえて段差が出る様に張り、見事にヨロイ張り調の仕上がりになっております。

キッチンパネルの使用においては、耐火試験を受けて認定された商品ではないので、使用は出来ません。暖炉等の耐火壁を求められる箇所での使用も同様です。



Q.22 '施工が簡単'と言いますが、素人の私でも施工できますか？

A

イノヴァーフロアは釘・金物・接着剤を使用しないではめていくだけの施工方法ですので、簡易的に施工は出来ます。

しかし、材の切断、納まり関係、施工手順におきましてはある程度の技術を要します。

【誰もが簡単に D.I.Y.レベル】というものではありませんので、誤解の無い様にご理解下さい。